

平素は弊社商品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

この設定変更は内税部門から外税部門へ変更する操作方法を記載してあります。

お店の運用を内税登録から外税登録に変更する際はお客様ご自身にて設定変更していただくようご案内申し上げます。

尚、レジスターの『取扱説明書』にも本内容はすべて記載されていますので併せてご参照下さい。

【 設定変更の流れ 】

1. 鍵位置<精算>で“精算”を行います。（累計精算も併せて行う事をご推奨します）
2. 鍵位置<設定>で下記，設定変更を行います。

①部門の税区分を変更します。（内税→外税に変更します。）

②システムオプションを変更します。（外税データの印字選択）

・レシート上の外税対象額・外税を印字に選択します。

・レポート印字項目の設定

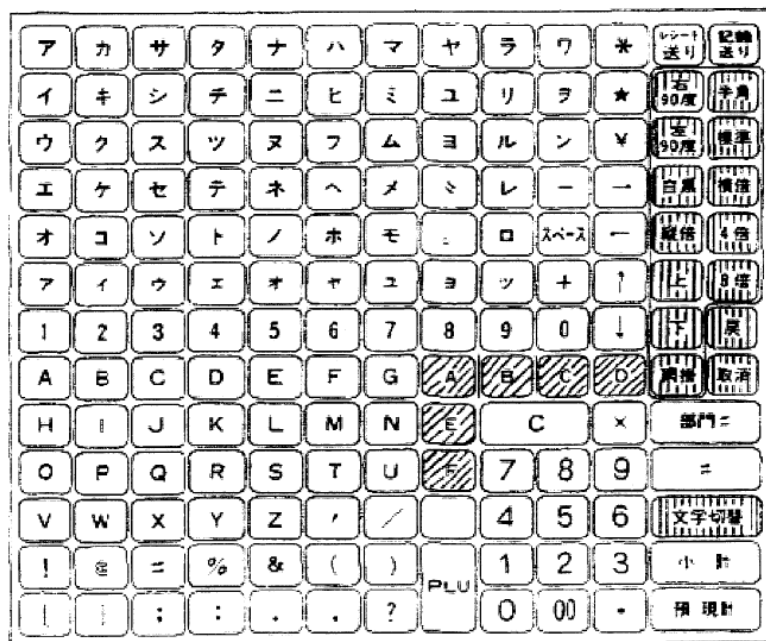
③PLUの単価を変更します。（税込み価格→税抜き価格に変更します。）

④レシート上の税区分シンボルマーク（非，外，内）の印字選択をします。

※マスターサテライトシステムの場合

【設定操作時の注意事項】

- 鍵位置<設定>では下記キーボード配列となりますのでご注意ください。



文字属性の切替に
使用します。

JISコード(16進)の
入力に使用します。

- ・鍵位置<設定>の設定操作時のキーボードは上記配列となります。
- ・キー配列中の **A** ~ **F** は文字コードの入力で使用します。

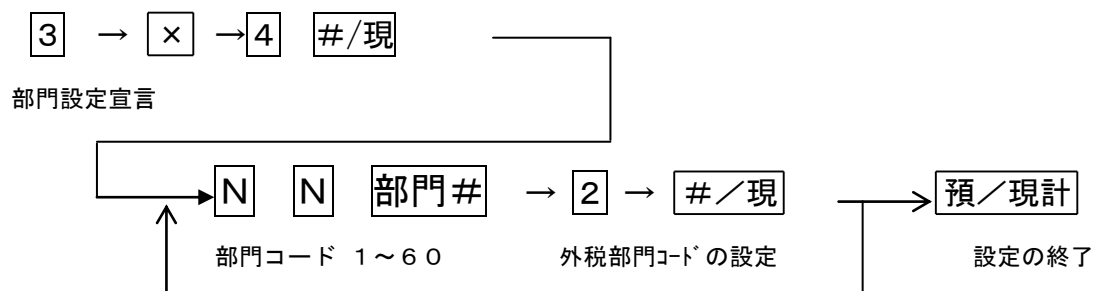
FS-1260、FS-1270シリーズ

該当機種 FS-1260、FS-1270

内税部門を外税部門に変更する設定操作

＜使用する鍵＞MAキー、＜鍵の位置＞設定

①部門の税区分を変更します。



(注) 1. 内税部門、非課税部門にしたい場合は下記コードを登録します

内税部門の場合 (3 → #/現) と押します。

非課税部門の場合 (4 → #/現) と押します。

最後に設定した税区分が有効となります。

(注) 2. マスター/サテライトシステムの場合はマスター機のRTRキーを押してから操作します。

②システムオプションを変更します。

レシート上に外税売上対象額・外税額を印字する場合に設定変更します。

[レシートサンプル]

部門01	¥1,000
部門02	¥2,000
部門03	¥5,000内
小計	¥8,000
外税売	¥3,000
外税	¥150
見出し	¥8,150

＜設定操作＞

1 8 X 8 小計 1 2 4 5 6 #/現 預/現計

設定宣言 アドレスNO 選択した項目NO (ご推奨)

端数処理の選択ができます。

<設定操作>

1 **8** **X** **7** **小計** **1** **4** **7** **#/現** **預/現計**

設定宣言 アドレスNO 選択した項目 NO（ご推奨）

<項目NOの選択例>

端数切捨て：1 4 7（ご推奨）

端数四捨五入：1

<システムオプション7の内容>

項目	システムオプションの内容	項目 NO. 選択しない	選択する
1	税 1	内税	<外税>
2	税 2	<内税>	外税
3	外税端数処理	<四捨五入>	切上げ
4	外税端数処理	四捨五入	<切捨て>
5	外税端数処理	<1円未満>	10円未満
6	内税端数処理	<四捨五入>	切上げ
7	内税端数処理	四捨五入	<切捨て>
8	内税端数処理	<1円未満>	10円未満

③ P L U の単価を変更します。

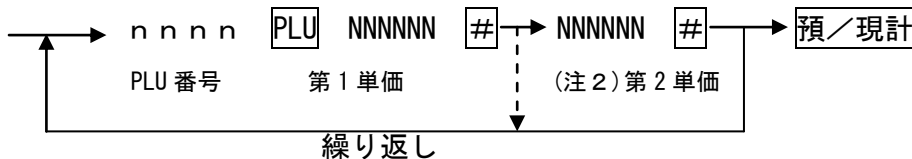
各 P L U の設定単価を税込み価格から税抜き価格へ変更します。

単価が2個（第1単価、第2単価）設定できますので、ご使用状況に合わせて設定して下さい

【設定操作】鍵位置<設定>

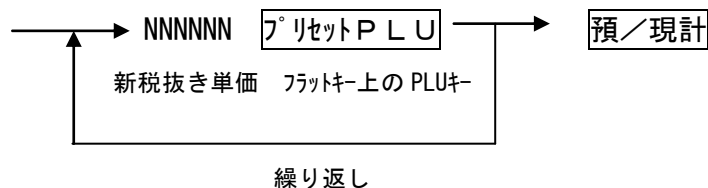
4 **X** → **3** **5** **#** （注1）第1単価のみの場合は**3** **#**と操作します。

設定宣言



（注2）：第2単価を使用しない場合はこの操作は省略できます。

フラットキーボードに PLU をセットしている場合：第1単価のみ変更



④レシート上の税区分シンボルマークの変更ができます。

標準ではレシートの部門名称の右端に税区分シンボルマークが印字されます。

部門01	¥1,000
部門02	¥2,000
部門03	¥5,000内
小 計	¥8,000
外税売	¥3,000
外 税	¥150
毛見 言十	¥8,150

[現状] [変更後]

<税区分> <印字シンボル> <印字シンボル>

外税部門 : 外 ⇒ (空白)

内税部門 : (空白) ⇒ 内

非課税部門 : 非 ⇒ 非

下記例は外税部門を「空白」、内税部門は「内」非課税部門は「非」と印字する設定例です。

【設定操作例】 鍵位置<設定>

1 0 X 1 9 小計

2 4 0 0 #/現 2 0 0 #/現 2 2 1 2 小計 預/現計

「非」の漢字コード

「空白」の漢字コード

「内」の漢字コード

注意 1. 漢字文字コードの[A]~[F]は設定キーボード上の[A]~[F]を使用します。

2. 「非」・「外」・「内」のシンボルマークは漢字 1 文字設定できます。この順番で設定します

【例】非課税：「非」、外税：「外」、内税：「空白」を設定する場合（現状に戻す場合）

1 0 X 1 9 小計 2 4 0 0 #/現 2 6 0 6 #/現

「非」の漢字コード

「外」コード

2 0 0 #/現

小計 預/現計

「空白」の漢字コード

【マスター／サテライトシステムで運用時の設定変更】

マスター機で前記の設定変更を終了したら、サテライト機に設定を送信します。

【変更データの送信（DLL）】

1. 各サテライトレジスターで日計精算・累計精算・PLU精算を行います。

2. マスター機で下記操作します。

① RTR キーを押します

② 8 1 預／現計

サテライト機に部門設定テーブルを送信します。

完了すると点滅は終了し、レシート発行します。

③ 8 2 預／現計

サテライト機にPLU設定テーブルを送信します。

完了すると点滅は終了し、レシート発行します

④ 9 0 預／現計

サテライト機にシステムオプション設定を送信します。

完了すると点滅は終了し、レシート発行します

⑤ 鍵位置<RTR>、<設定>を戻します。

(注) サテライト機へのデータ送信でサテライト機の電源が切れていたなど障害があった場合には、手動でデータ送信のリトライ・中止を行う事もできます。

リトライ: 預／現計 押し下げ

中止: 替 押し下げ

中止時は障害復旧後、再度送信ください。